

表 5-1. STD 予防に対する男性のコンドームの考え

	世代	値段を安くする	入手し易くする	使いやすい商品を開発する	コンドームの有効性を周知する	その他	無回答	総計
未婚	16-24 歳	21(20.2)	35(33.7)	7(6.7)	26(25.0)	12(11.5)	3(2.9)	104
	25-34 歳	8(7.9)	37(36.6)	11(10.9)	39(38.6)	5(5.0)	1(1.0)	101
	35-44 歳	6(7.8)	17(22.1)	19(24.7)	27(35.1)	7(9.1)	1(1.3)	77
	45 歳以上	1(5.6)	5(27.8)	1(5.6)	9(50.0)		2(11.1)	18
未婚男性計		36(12.0)	94(31.3)	38(12.7)	101(33.7)	24(8.0)	7(2.3)	300
既婚	16-24 歳		1(33.3)		2(66.7)			3
	25-34 歳	14(15.4)	25(27.5)	12(13.2)	28(30.8)	10(11.0)	2(2.2)	91
	35-44 歳	15(8.7)	54(31.4)	28(16.3)	56(32.6)	12(7.0)	7(4.1)	172
	45 歳以上	4(5.5)	20(27.4)	13(17.8)	33(45.2)	1(1.4)	2(2.7)	73
既婚男性計		33(9.7)	100(29.5)	53(15.6)	119(35.1)	23(6.8)	11(3.2)	339
未既婚不明男性		2(25.0)	1(12.5)		1(12.5)	1(12.5)	3(37.5)	8
男性総計		71(11.0)	195(30.1)	91(14.1)	221(34.2)	48(7.4)	21(3.2)	647

表 5-2. STD 予防に対する女性のコンドームの考え

	世代	値段を安くする	入手し易くする	使いやすい商品を開発する	コンドームの有効性を周知する	その他	無回答	総計
未婚	16-24 歳	32(25.0)	25(19.5)	16(12.5)	46(35.9)	5(3.9)	4(3.1)	128
	25-34 歳	6(5.5)	35(31.8)	20(18.2)	31(28.2)	13(11.8)	5(4.5)	110
	35-44 歳	5(8.9)	16(28.6)	8(14.3)	21(37.5)	5(8.9)	1(1.8)	56
	45 歳以上	1(5.6)	3(16.7)	3(16.7)	10(55.6)		1(5.6)	18
未婚女性計		44(14.1)	79(25.3)	47(15.1)	108(34.6)	23(7.4)	11(3.5)	312
既婚	16-24 歳	1(20.0)	1(20.0)		2(40.0)	1(20.0)		5
	25-34 歳	22(17.2)	33(25.8)	19(14.8)	44(34.4)	8(6.3)	2(1.6)	128
	35-44 歳	18(7.5)	50(20.8)	36(15.0)	112(46.7)	9(3.8)	15(6.3)	240
	45 歳以上	2(1.7)	29(24.0)	20(16.5)	58(47.9)	6(5.0)	6(5.0)	121
既婚女性計		43(8.7)	113(22.9)	75(15.2)	216(43.7)	24(4.9)	23(4.7)	494
未既婚不明女			2(13.3)		8(53.3)		5(33.3)	15

性								
女性総計	87(10.6)	194(23.6)	122(14.9)	332(40.4)	47(5.7)	39(4.8)	821	

6. 避妊法の周知媒体

表 6-1. 男性における避妊法の周知媒体

	世代	教師・学校の 授業	医療関係者	親	兄弟・ 姉妹	親以外 の大人	友達	マスコミ	インター ネット	自然に身に ついた	学んだこ とはない	無回答	総計
未婚	16-24 歳	58(55.8)	1(1.0)				15(14.4)	7(6.7)	4(3.8)	15(14.4)	2(1.9)	2(1.9)	104
	25-34 歳	33(32.7)				3(3.0)	22(21.8)	20(19.8)	1(1.0)	17(16.8)	5(5.0)		101
	35-44 歳	13(16.9)	1(1.3)	1(1.3)		3(3.9)	25(32.5)	23(29.9)		9(11.7)	2(2.6)		77
	45 歳以上	3(16.7)					4(22.2)	8(44.4)		1(5.6)		2(11.1)	18
未婚男性計		107(35.7)	2(0.7)	1(0.3)		6(2.0)	66(22.0)	58(19.3)	5(1.7)	42(14.0)	9(3.0)	4(1.3)	300
既婚	16-24 歳	1(33.3)					2(66.7)						3
	25-34 歳	30(33.0)		2(2.2)			19(20.9)	25(27.5)		14(15.2)	1(1.1)		91
	35-44 歳	31(18.0)	1(0.6)				60(34.9)	51(29.7)		21(12.2)	2(1.2)	6(3.5)	172
	45 歳以上	6(8.2)	3(4.1)			1(1.4)	32(43.8)	19(26.0)		10(13.7)	2(2.7)		73
既婚男性計		68(20.1)	4(1.2)	2(0.6)		1(0.3)	113(33.3)	95(28.0)		45(13.3)	5(1.5)	6(1.8)	339
未既婚不明計		2(25.0)					4(50.0)	1(12.5)				1(12.5)	8
男性総計		177(27.4)	6(0.9)	3(0.5)		7(1.1)	183(28.3)	154(23.8)	5(0.8)	87(13.4)	14(2.2)	11(1.7)	647

表 6-2. 女性における避妊法の周知媒体

	世代	教師・学校の授業	医療関係者	親	兄弟・姉妹	親以外の大人	友達	マスコミ	インターネット	自然に身についた	学んだことはない	無回答	総計
未婚	16-24歳	80(62.5)	1(0.8)	1(0.8)		1(0.8)	20(15.6)	7(5.5)	3(2.3)	15(11.7)			128
	25-34歳	42(38.2)	1(0.9)	1(0.9)	1(0.9)		24(21.8)	18(16.4)		20(18.2)	2(1.8)	1(0.9)	110
	35-44歳	18(32.1)					15(26.8)	13(23.2)		7(12.5)	2(3.6)	1(1.8)	56
	45歳以上	6(33.3)			1(5.6)		4(22.2)	2(11.1)		4(22.2)	1(5.6)		18
未婚女性計		146(46.8)	2(0.6)	2(0.6)	2(0.6)	1(0.3)	63(20.2)	40(12.8)	3(1.0)	46(14.7)	5(1.6)	2(0.6)	312
既婚	16-24歳	4(80.0)					1(20.0)						5
	25-34歳	64(50.0)	1(0.8)	3(2.3)			31(24.2)	9(7.0)		18(14.1)	1(0.8)	1(0.8)	128
	35-44歳	82(34.2)	5(2.1)	1(0.4)		1(0.4)	60(32.5)	38(15.8)		36(15.0)	5(2.1)	12(5.0)	240
	45歳以上	36(29.8)	5(4.1)			1(0.8)	20(16.5)	30(24.8)		20(16.5)	5(4.1)	4(3.3)	121
既婚女性計		186(37.7)	11(2.2)	4(0.8)		2(0.4)	112(22.7)	77(15.6)		74(15.0)	11(2.2)	17(3.4)	494
未既婚不明計		5(33.3)					4(26.7)	3(20.0)		1(6.7)	1(6.7)	1(6.7)	15
女性総計		337(41.0)	13(1.6)	6(0.7)	2(0.2)	3(0.4)	179(21.8)	120(14.6)	3(0.4)	121(14.7)	17(2.1)	20(2.4)	821

避妊法についての情報源を問いかけているが、男性は「友達」が最も多く 183 名(28.3%)であり、女性は 179 名(21.8%)と少なく両者間に有意差($p<0.01$)を認めた。次に男性に多いのが「教師・学校の授業」で 177 名(27.4%)に対し、女性が 337 名(41.0)と最も高く両者間に有意差($p<0.001$)を認めた。「マスコミ」は男性で 154 名(23.8%)、女性 120 名(14.6%)とこれも有意差($p<0.001$)を認めた。その他では、「自然に身についた」が男性 13.4%、女性 14.7%と両者間に差は認めなかった。

未既婚間でみると男性では未婚者が「教師・学校の授業」35.7%に対し既婚 20.1%と未婚に多く有意差($p<0.01$)を認め、「友達」が未婚 22.0%、既婚 33.3%と既婚が多くなり有意差($p<0.01$)を認めた。「マスコミ」も同様に既婚者が 28.0%と多く有意差($p<0.05$)を認めた。女性においては「教師・学校の授業」で未婚 46.8%、既婚 37.7%と未婚者に多く有意差($p<0.05$)を認めたのみであり、その他においては未既婚間に差は認められなかった。この違いは年齢の若い者に高くなっていることと女性により高いことから、学校の性教育が充実しているものと考えられる。

7. 低用量ピルの周知度

低用量ピルの周知度についてみると、「良く知っている」は男性 70 名(10.8%)に対し女性 107 名(13.0%)で男女間に有意差は認められなかったが、「ある程度知っている」は男性 51.3%に対し女性は 58.8%であり、女性の方が低用量ピルの周知度は有意($p<0.01$)に高い

ことが示された。

男性の年代別に 35 歳未満と 35 歳以上の 2 群に分けて「ある程度知っている」以上を含めて比較検討すると、35 歳未満男性は 299 名中 186 名 (62.2%)、35 歳以上 340 名中 213 名 (62.6%) とほぼ同じであったが、35 歳未満の未婚男性は 205 名で「ある程度以上知っている」が 128 名 (42.7%)、既婚男性は 94 名中 58 名 (17.1%) であり、未婚男性が有意 ($p < 0.001$) に知っているものが多く、逆に、35 歳以上の男性でみると未婚者 95 名中 63 名 (21.0%) に対し既婚者 245 名中 150 名 (44.2%) となり、既婚者の方が有意 ($p < 0.001$) となっていた。このことは、未婚男性は高齢になるにつれ性に対する意識、避妊に対する意識が低下していることによるものと考えられた。

女性のある程度以上の周知度についてみると 821 名中 590 名 (71.8%) であり、35 歳未満では 371 名中 266 名 (71.7%)、35 歳以上 435 名中 314 名 (72.7%) 殆ど同じであった。これを未既婚でみると 35 歳未満の未婚者 238 名中 171 名 (71.8%)、既婚者 133 名中 95 名 (71.4%) と同じで、35 歳以上では未婚者 74 名中 54 名 (73.0%)、既婚者 361 名中 260 名 (72.0%) と年代区分と未既婚別においても低用量ピルの周知度は 70% 台で殆ど同じであった。このことは服用する・しないにかかわらず確実に避妊できるものという認識は高く持っていると思われた。

表 7-1. 男性の低用量ピルの周知度

	世代	良く知っている	ある程度知っている	あまり知らない	全く知らない	無回答	総計
未婚	16-24 歳	22(21.2)	45(43.3)	32(30.8)	2(1.9)	3(2.9)	104
	25-34 歳	8(7.9)	53(52.5)	30(29.7)	9(8.9)	1(1.0)	101
	35-44 歳	6(7.8)	48(62.3)	18(23.4)	4(5.2)	1(1.3)	77
	45 歳以上	1(5.6)	8(44.4)	7(38.9)		2(11.1)	18
未婚男性計		37(12.3)	154(51.3)	87(29.0)	15(5.0)	7(2.3)	300
既婚	16-24 歳	2(66.7)	1(33.3)				3
	25-34 歳	10(11.0)	45(49.5)	29(31.9)	7(7.7)		91
	35-44 歳	12(7.0)	91(52.9)	60(34.9)	5(2.9)	4(2.3)	172
	45 歳以上	9(12.3)	38(52.1)	22(30.1)	3(4.1)	1(1.4)	73
既婚男性計		33(9.7)	175(51.6)	111(32.7)	15(4.4)	5(1.5)	339
未既婚不明			3(37.5)	2(25.0)	1(12.5)	2(25.0)	8
男性総計		70(10.8)	332(51.3)	200(30.9)	31(4.8)	14(2.2)	647

表 7-2. 女性の低用量ピルの周知度

	世代	良く知っている	ある程度知っている	あまり知らない	全く知らない	無回答	総計
未婚	16-24 歳	15(11.7)	78(60.9)	29(22.7)	5(3.9)	1(0.8)	128
	25-34 歳	17(15.5)	61(55.5)	27(24.5)	2(1.8)	3(2.7)	110
	35-44 歳	13(23.2)	25(44.6)	15(26.8)	3(5.4)		56
	45 歳以上	5(27.8)	11(61.1)	2(11.1)			18
未婚女性計		50(16.0)	175(56.1)	73(23.4)	10(3.2)	4(1.3)	312
既婚	16-24 歳	1(20.0)	4(80.0)				5
	25-34 歳	14(10.9)	76(59.4)	35(27.3)	2(1.6)	1(0.8)	128
	35-44 歳	32(13.3)	139(57.9)	57(23.8)	6(2.5)	6(2.5)	240
	45 歳以上	10(8.3)	79(65.3)	25(20.7)	3(2.5)	4(3.3)	121
既婚女性計		57(11.5)	298(60.3)	117(23.7)	11(2.2)	11(2.2)	494
未既婚不明計			10(66.7)	2(13.3)	1(6.7)	2(13.3)	15
女性総計		107(13.0)	483(58.8)	192(23.4)	22(2.7)	17(2.1)	821

8. 緊急避妊法の周知度

緊急避妊法の周知度についてみると男性の周知度は171名26.4%、女性248名30.2%と女性に多くみられるも有意差は認めなかったが、未婚男性27.7%に対し未婚女性は36.9%と女性が有意($p<0.05$)に高値を示していた。既婚男性と女性間では男性25.0%に対し女性26.5%と有意差は認めなかった。また、男性の未既婚間では有意差は認めなかったものの女性の未既婚間では、未婚女性36.9%に対し既婚女性が26.5%であり未婚女性が有意($p<0.01$)に高値を示していた。

表 8-1. 男性の緊急避妊法の周知度

	世代	聞いたこと がある	聞いたこと がない	無回答	総計
未婚	16-24歳	34(32.7)	65(62.5)	5(4.8)	104
	25-34歳	32(31.7)	67(66.3)	2(2.0)	101
	35-44歳	15(19.5)	56(72.7)	6(7.8)	77
	45歳以上	2(11.1)	14(77.8)	2(11.1)	18
未婚男性計		83(27.7)	202(67.3)	15(5.0)	300
既婚	16-24歳	3(100.0)			3
	25-34歳	27(29.7)	64(70.3)		91
	35-44歳	35(20.3)	128(74.4)	9(5.2)	172
	45歳以上	21(28.8)	50(68.5)	2(2.7)	73
既婚男性計		86(25.4)	242(71.4)	11(3.2)	339
未既婚不明		2(25.0)	4(50.0)	2(25.0)	8
総計		171(26.4)	448(69.2)	28(4.3)	647

男性の35歳未満と35歳以上では、前者が299名中96名(32.1%)、後者340名中73名(21.5%)と前者が有意($p<0.01$)に高値を示していたが、未既婚間では35歳未満男性205名中66名(32.2%)、35歳以上95名中17名(17.9%)と35歳未満群が高値で有意差($p<0.05$)を認めたが、他の未既婚男性では有意差は認めなかった。

女性における35歳未満の周知率は、371名中141名(38.0%)、35歳以上のそれは435名中105名(24.1%)と有意($p<0.001$)に若い群が高値を示しており、35歳未満の未既婚でみると未婚238名中99名(41.6%)、既婚133名中42名(31.6%)と前者が高値を示すも有意差は認めなかった。35歳以上の未既婚では、未婚74名中16名(21.6%)、既婚361名中89名(24.7%)と両者間には有意差は認めなかった。しかしながら、未婚の35歳未満と35歳以上の間には若い群に有意差($p<0.01$)を認めた。

表 8-2. 女性の緊急避妊法の周知度

	世代	聞いたこと がある	聞いたこと がない	無回答	総計
未婚	16-24 歳	53 (41.4)	72 (56.3)	3 (2.3)	128
	25-34 歳	46 (41.8)	58 (52.7)	6 (5.5)	110
	35-44 歳	15 (26.8)	40 (71.4)	1 (1.8)	56
	45 歳以上	1 (5.6)	17 (94.4)		18
未婚女性計		115 (36.9)	187 (59.9)	10 (3.2)	312
既婚	16-24 歳	2 (40.0)	3 (60.0)		5
	25-34 歳	40 (31.3)	87 (68.0)	1 (0.8)	128
	35-44 歳	60 (25.0)	170 (70.8)	10 (4.2)	240
	45 歳以上	29 (24.0)	84 (69.4)	8 (6.6)	121
既婚女性計		131 (26.5)	344 (69.6)	19 (3.8)	494
未既婚不明		2 (13.3)	10 (66.7)	3 (20.0)	15
女性総計		248 (30.2)	541 (65.9)	32 (3.9)	821

9. 緊急避妊法の周知者の利用度

緊急避妊法を周知しているうちで男性は「緊急避妊法を利用させたことある」が 171 名中 12 名 (7.0%)、女性は「利用したことがある」248 名中 14 名 (5.6%) といずれも 10% 未満であった。35 歳未満の男性は 96 名中 8 名 (8.3%)、女性 141 名中 7 名 (5.0%)、35 歳以上男性 73 名中 4 名 (5.5%)、女性 105 名中 7 名 (6.7%) と男女間に有意差は認めなかった。

35 歳未満の男性の未婚者では 66 名中 6 名 (9.1%)、既婚 30 名中 2 名 (6.7%)、35 歳以上の未婚 17 名中 1 名 (5.9%)、既婚 56 名中 3 名 (5.4%) と殆ど同じ値を示していた。一方、女性でも 35 歳未満未婚 99 名中 6 名 (6.1%)、既婚 42 名中 1 名 (2.4%) と最も低かったが有意な差は認めなかった。35 歳以上未婚 16 名中 1 名 (6.3%)、既婚 89 名中 6 名 (6.7%) と同じ値を示していた。

ここで注目されたのが、未婚女性では 7 名中 1 名のみが複数回であったのに対し、既婚では 7 名中 5 名で、いずれも 35 歳以上の女性であった。

表 9-1. 男性の緊急避妊法の利用度

	世代	利用させたことがある			利用させ たことが ない	わからない	無回答	総計
		1回	2回	3回以上				
未婚	16-24歳	3(8.8)			30(88.2)	1(2.9)		34
	25-34歳		2(6.3)	1(3.1)	27(84.4)	2(6.3)		32
	35-44歳				13(86.7)	2(13.3)		15
	45歳以上	1(50.0)			1(50.0)			2
未婚男性計		4(4.8)	2(2.4)	1(1.2)	71(85.5)	5(6.0)		83
既婚	16-24歳				2(66.7)	1(33.3)		3
	25-34歳	1(3.7)	1(3.7)		23(85.2)	1(3.7)	1(3.7)	27
	35-44歳		1(2.9)	1(2.9)	32(91.4)	1(2.9)		35
	45歳以上		1(4.8)		20(95.2)			21
既婚男性計		1(1.2)	3(3.5)	1(1.2)	77(89.5)	3(3.5)	1(1.2)	86
未既婚不明男性					2(100)			2
男性総計		5(2.9)	5(2.9)	2(1.2)	150(87.7)	8(4.7)	1(0.6)	171

表 9-2. 女性の緊急避妊法の利用度

	世代	利用したことがある			利用したこ とがない	わからない	無回答	総計
		1回	2回	3回以上				
未婚	16-24歳	2(3.8)			51(96.2)			53
	25-34歳	3(6.5)		1(3.1)	40(87.0)	2(4.3)		46
	35-44歳	1(6.7)			13(86.7)	1(6.7)		15
	45歳以上				1(100.0)			1
未婚女性計		6(5.2)		1(0.9)	105(91.3)	3(2.6)		115
既婚	16-24歳				2(100.0)			2
	25-34歳	1(2.5)			37(92.5)	2(5.0)		40
	35-44歳	1(1.7)	1(1.7)	2(3.3)	55(91.7)	1(1.7)		60
	45歳以上			2(6.9)	27(93.1)			29
既婚女性計		2(1.5)	1(0.8)	4(3.1)	121(92.4)	3(2.3)		131
未既婚不明					2(100.0)			2
女性総計		8(3.2)	1(0.4)	5(2.0)	228(91.9)	6(2.4)		248

10. 現在適切と考えている避妊法

現在、適切と考えている避妊法について「コンドーム」と捉えているのが未婚男性で91.0%、既婚では93.8%と他の避妊法に比べ群を抜いて高率であった。次に高いのは未婚で「ピル」26.0%であるが、既婚は「腔外射精」が19.2%となっていた。「ピル」は既婚で16.5%と3番目にあり、「腔外射精」は未婚で16.7%と3位と未既婚間で逆転していた。続いて未婚では「オギノ式」12.0%、「女性用コンドーム」11.7%と1割を超えていたが、既婚では「オギノ式」9.1%、「基礎体温 (BBT)」7.1%となっていた。年齢的にみて未婚者の若い世代は「ピル」と考えているのが高いように思われたが、既婚者ではそのような考えは窺われなかった。

女性についても「コンドーム」が主であり未婚92.3%、既婚91.5%であった。次に多いのが「ピル」で未婚者37.8%、既婚24.9%であり、未既婚間に有意差($p < 0.01$)を認めた。しかも、若い世代にピルを適切な避妊法と考えているものが多くみられた。続いて「基礎体温 (BBT)」未婚22.1%、既婚21.5%、「腔外射精」未婚13.8%、既婚15.2%となっていた。この「腔外射精法」は女性側からの視点では避妊法として捉えがたいものの適切と考えているのが1割強にみられた。

表 10-1-1. 未婚男性の適切と考えている避妊法

未婚男性	16-24 歳	(%) n=104	25-34 歳	(%) n=101	35-44 歳	(%) n=77	45歳 以上	(%) n=18	未婚 男性	(%) n=300
コンドーム	93	89.4	97	96.0	68	88.3	15	83.3	273	91.0
ピル	31	29.8	29	28.7	14	18.2	4	22.2	78	26.0
フィルム	4	3.8	5	5.0	5	6.5	1	5.6	15	5.0
オギノ式	15	14.4	13	12.9	8	10.4		0.0	36	12.0
BBT	8	7.7	7	6.9	8	10.4		0.0	23	7.7
腔外射精	15	14.4	20	19.8	14	18.2	1	5.6	50	16.7
女性コンドーム	17	16.3	8	7.9	10	13.0		0.0	35	11.7
ベッサリー	5	4.8	4	4.0	6	7.8		0.0	15	5.0
緊急避妊	1	1.0	2	2.0	3	3.9		0.0	6	2.0
IUD	5	4.8	3	3.0	3	3.9		0.0	11	3.7
この中不在	1	1.0	3	3.0	3	3.9		0.0	7	2.3
無回答	6	5.8	1	1.0	2	2.6	2	11.1	11	3.7

表 10-1-2. 既婚男性の適切と考えている避妊法

既婚男性	16-24 歳	(%) n=3	25-34 歳	(%) n=91	35-44 歳	(%) n=172	45歳 以上	(%) n=73	既婚 男性	(%) n=339
コンドーム	3	100.0	86	94.5	158	91.9	71	97.3	318	93.8
ピル	1	33.3	17	18.7	27	15.7	11	15.1	56	16.5
フィルム		0.0	3	3.3	6	3.5	1	1.4	10	2.9
オギノ式		0.0	10	11.0	14	8.1	7	9.6	31	9.1
BBT		0.0	8	8.8	14	8.1	2	2.7	24	7.1
膣外射精		0.0	18	19.8	31	18.0	16	21.9	65	19.2
女性コンドーム	1	33.3	6	6.6	6	3.5	3	4.1	16	4.7
ペッサリー		0.0	2	2.2	2	1.2	3	4.1	7	2.1
緊急避妊		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
IUD		0.0	1	1.1		0.0	3	4.1	4	1.2
この中不在		0.0	2	2.2		0.0		0.0	2	0.6
無回答		0.0		0.0	5	2.9		0.0	5	1.5

表 10-2-1. 未婚女性の適切と考えている避妊法

未婚女性	16-24 歳	(%) n=128	25-34 歳	(%) n=110	35-44 歳	(%) n=56	45歳 以上	(%) n=18	未婚 女性	(%) n=312
コンドーム	120	93.8	104	94.5	48	85.7	16	88.9	288	92.3
ピル	49	38.3	48	43.6	16	28.6	5	27.8	118	37.8
フィルム	3	2.3	1	0.9	1	1.8		0.0	5	1.6
オギノ式	19	14.8	6	5.5	9	16.1	6	33.3	40	12.8
BBT	22	17.2	26	23.6	13	23.2	8	44.4	69	22.1
膣外射精	18	14.1	15	13.6	7	12.5	3	16.7	43	13.8
女性コンドーム	25	19.5	9	8.2	5	8.9		0.0	39	12.5
ペッサリー	1	0.8	1	0.9	2	3.6		0.0	4	1.3
緊急避妊	3	2.3	1	0.9		0.0		0.0	4	1.3
IUD	1	0.8	4	3.6	1	1.8	1	5.6	7	2.2
この中不在	3	2.3		0.0	1	1.8		0.0	4	1.3
無回答	2	1.6	1	0.9		0.0		0.0	3	1.0

表 10-2-2. 既婚女性の適切と考えている避妊法

既婚女性	16-24 歳	(%) n=5	25-34 歳	(%) n=128	35-44 歳	(%) n=240	45歳 以上	(%) n=121	既婚 女性	(%) n=494
コンドーム	4	80.0	122	95.3	215	89.6	111	91.7	452	91.5
ピル	3	60.0	34	26.6	58	24.2	28	23.1	123	24.9
フィルム		0.0	1	0.8	4	1.7	3	2.5	8	1.6
オギノ式		0.0	17	13.3	34	14.2	16	13.2	67	13.6
BBT		0.0	30	23.4	52	21.7	24	19.8	106	21.5
膣外射精		0.0	21	16.4	36	15.0	18	14.9	75	15.2
女性コンドーム	4	80.0	13	10.2	5	2.1	6	5.0	28	5.7
ペッサリー		0.0	5	3.9	6	2.5		0.0	11	2.2
緊急避妊		0.0		0.0	1	0.4		0.0	1	0.2
IUD		0.0	13	10.2	20	8.3	8	6.6	41	8.3
この中不在		0.0	1	0.8		0.0		0.0	1	0.2
無回答		0.0	1	0.8	11	4.6	4	3.3	16	3.2

II. 異性に対する意識についての小括

1. 異性との交際経験

異性との交際経験について、初恋ともいえることであり異性を強く意識し行動を起こした時期とも考えられる。既婚者は男女共に全員が「経験ある」答えていたのは当然といえよう。未婚男性で「ある」が66.0%、未婚女性では77.2%と多く有意差を認め、交際開始年齢は男性 17.3±4.1 歳、女性 17.6±3.3 歳と開始年齢では男女間に有意差は認めなかった。

このことは異性を意識し交際を始めるのが一般的に17歳頃からと思われた。

2. 中学生が性交渉をすることに対する考え

「自分で責任を取れるようになってからすべき」と考えるのが多く、男性 55.7%に対し女性 67.8%と高く有意差($p<0.001$)を認め、「個人の自由」と考えるのが男性 19.8%に対し女性 11.6%と低くなり有意差($p<0.001$)が認められ、ジェンダーの違いが表れていると思われた。

前項を受け継いで異性を意識し実際に交際するのは高校生からが多く、性そのものとし

て捉え始めるものと思われたが、お互いが責任を取れる時期という意識は、高校を卒業してからと多くのものは捉えているように思われた。

3. セックス（性交渉）に対する関心度

セックス（性交渉）に対する関心度について、「とても・ある程度関心がある」を合わせてみると男性は 86.9%に対し女性 58.4%と低く有意差($p<0.001$)を認め、特に、既婚女性では未婚のときよりも「性への関心度」は更に低下していた。

4. 異性とのかかわりについて

異性とのかかわりについて、「とても・ある程度面倒」を合わせてみると男性は 33.6%に対し女性 46.3%と高値を占め有意差($p<0.001$)を認め、特に未婚の 45 歳以上では 72.3%も占めていた。

性への関心度と異性へのかかわりも女性の方に年齢が高くなるにつれ後退していくことが窺われ、以降を解析していく上に重要な問題点を示唆しているように思われた。

5. コンドームの使用促進について

性感染症（STD）予防のためにコンドームの使用促進についての考えを聞いているが、男女共に「コンドームの有効性を周知させる」ことをあげており、年齢を重ねるにつれ高くなっていった。また、コンドームは男性が着けるものであり「入手しやすくする」や「値段を安くする」は男性が上回っていた。

6. 避妊法の周知媒体

避妊法の情報源について男性は「友人関係」が多く、女性は「教師・学校の授業」が多かった。また男性でも年齢が若くなるにつれ高くなっており、学校での性教育の指導が高くなってきている状況が窺われた。

望まない妊娠をするのは女性であり、しかも性感染症に罹患する確率も女性が高いと一般的にいわれており、学校での性教育は女性の方が先行して行われ、妊娠させるのも性感染症も男性が関与しているだけに遅れて男性に対しても性教育が周知徹底されるようになってきたことが窺われた。

7. 低用量ピルの周知度

低用量ピルの周知度について、当然のことながら男性よりも女性の方が周知度は 71.8%と高いことが示されていた。また、この低用量ピルは女性の意志で使用されるものだけに、未婚の区別なく、年齢の区別なく周知度の高いことが明らかとなった。

8. 緊急避妊法の周知度

緊急避妊法の周知度も女性が 30.2%と高いものの男性との間には有意差は認めなかったが、年齢が若いほど、その周知度は高くなっていた。

9. 緊急避妊法周知者の利用度

緊急避妊法周知者の利用度について、男性が利用させたことがあると答えたのは 12 名 (7.0%)で、うち 7 名は複数回利用していた。女性は 14 名 (5.6%)、2 回以上の複数回の利用者は 6 名であった。しかも、このうちの 5 名が 35 歳以上の既婚女性であり、安易に望まない妊娠が回避できる考えを持っているのではないかと危惧されるところである。

10. 現在適切と考えている避妊法

現在適切と考えている避妊法については、未既婚の男女とも「コンドーム」とあげているのが 90%を超えていた。次は、未婚の男女とも「ピル」が多く、男性は「膣外射精」となっていたが、女性は「基礎体温法」「オギノ式」など選択肢の広がりが見られた。

適切な避妊法として女性がピルを考えるのが増えており、特に未婚女性に多く認められていたが、既婚女性も前回調査 15.8%に比べ今回は 24.9%であり、自らが確実に避妊を行えるという考えが浸透し始めてきていることが窺われた。

Ⅲ章、性行動について

1. 性交経験

性交経験の有無について問いかけているが、男女共に既婚者全員はあると回答していた。未婚者における男性は有るが 213 名(71.0%)であり、女性 208 名(66.7%)と男性に比べ 4.3 ポイント下回っているが男女間に有意差は認めなかった。世代別についてみても男女間について有意差を認めなかった。

表 1. 未既婚別男女の性交経験の有無

男性	世代	ある	ない	無回答	総計
未婚	16-24 歳	54(51.9)	45(43.3)	5(4.8)	104
	25-34 歳	78(77.2)	21(20.8)	2(2.0)	101
	35-44 歳	64(83.1)	13(16.9)		77
	45 歳以上	17(94.4)	1(5.6)		18
未婚男性計		213(71.0)	80(26.7)	7(2.3)	300
既婚	16-24 歳	3(100.0)			3
	25-34 歳	91(100.0)			91
	35-44 歳	172(100.0)			172
	45 歳以上	73(100.0)			73
既婚男性計		339(100.0)			339
未既婚不明		5(62.5)		3(37.5)	8
男性総計		557(86.1)	80(12.4)	10(1.5)	647
女性	世代	ある	ない	無回答	総計
未婚	16-24 歳	57(44.5)	71(55.5)		128
	25-34 歳	87(79.1)	19(17.3)	4(3.6)	110
	35-44 歳	46(82.1)	7(12.5)	3(5.4)	56
	45 歳以上	18(100.0)			18
未婚女性計		208(66.7)	97(31.1)	7(2.2)	312
既婚	16-24 歳	5(100.0)			5
	25-34 歳	128(100.0)			128
	35-44 歳	240(100.0)			240
	45 歳以上	121(100.0)			121
既婚女性計		494(100.0)			494
未既婚不明		8(53.3)	1(6.7)	6(40.0)	15
女性総計		710(86.5)	98(11.9)	13(1.6)	821

これを第3回の調査結果と比較すると男性の経験ありが85.1%、女性は86.9%と殆ど同じ値であった。

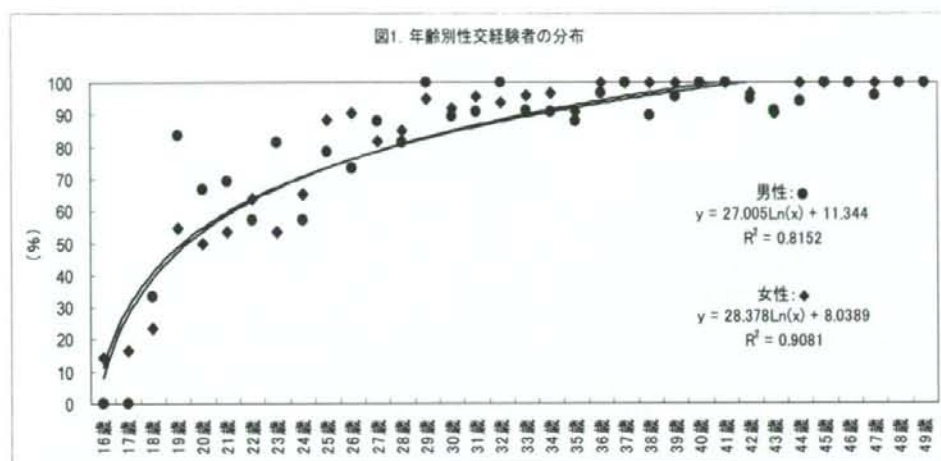
表1. の集計の未婚者には離婚や死別者も含まれているため、それを除いた未婚者のみの5歳階級別で集計したのが表2. である。未婚男性の性交経験者は185名(68.0%)に対し女性は158名(60.3%)と7.7ポイント下回っているものの有意差は認められなかった。5歳階級別の各年代間においても男女間に差は認められなかった。

2006年に行われた第3回調査の結果と比較すると未婚男性の性交経験者は64.8%であり、今回の68.0%に比べ3.2ポイント高くなっているも有意差はなく、未婚女性も同様に前回調査時63.2%であり2.9ポイント減少しているも有意差は認めていない。各年代においても同様であった。

表2. 5歳階級別未婚者の性交経験者の割合(離婚・死別を除く)

	年代	ある	ない	無回答	総計
男性	16-19歳	13(33.3)	23(59.0)	3(7.7)	39
	20-24歳	41(63.1)	22(33.8)	2(3.1)	65
	25-29歳	36(70.6)	13(25.5)	2(3.9)	51
	30-34歳	37(82.2)	8(17.8)		45
	35-39歳	30(78.9)	8(21.1)		38
	40-44歳	15(75.0)	5(25.0)		20
	45-49歳	13(92.9)	1(7.1)		14
男性総計		185(68.0)	80(29.4)	7(2.6)	272
女性	16-19歳	13(27.7)	34(72.3)		47
	20-24歳	43(53.8)	37(46.3)		80
	25-29歳	43(78.2)	12(21.8)		55
	30-34歳	29(72.5)	7(17.5)	4(10.0)	40
	35-39歳	16(80.0)	3(15.0)	1(5.0)	20
	40-44歳	10(62.5)	4(25.0)	2(12.5)	16
	45-49歳	4(100.0)			4
女性総計		158(60.3)	97(37.0)	7(2.7)	262

性交経験者の各年齢の平均値をプロットしたものを図1. に示す。男性は、対数近似曲線を描くと $y=27.005\ln(X)+11.344$ の数式を取り、重相関(R^2)は0.8152と強く、女性においても $y=28.378\ln(X)+8.0389$ となり $R^2=0.9081$ と強い相関を示した。20歳ではおよそ50%が経験者と予測され、25歳では70%が経験者と推測することができる。



2. 過去1年間の性交渉のパートナーの数

性交経験者に対し過去1年間に性交渉を持ったパートナーの数を聞いているが、未婚男性で「性交渉を持たなかった」が47名(22.1)、持ったものが160名(75.1%)であり、既婚男性では持たなかったもの32名(9.4%)、持ったもの296名(87.3%)であった。

関係を持ったもののうちで一人のみは、未婚160名中81名(50.6%)、既婚296名中259名(87.5%)であった。

表3-1. 男性の過去1年間の性交渉のパートナー数

	世代	1人	2-4人	5-9人	10人以上	性交渉無	無回答	総計
未婚	16-24歳	31(57.4)	16(29.6)	2(3.7)	1(1.9)	2(3.7)	2(3.7)	54
	25-34歳	21(26.9)	25(32.1)	12(15.4)	1(1.3)	18(23.1)	1(1.3)	78
	35-44歳	22(34.4)	11(17.2)	7(10.9)	2(3.1)	19(29.7)	3(4.7)	64
	45歳以上	7(41.2)	2(11.8)			8(47.1)		17
未婚男性計		81(38.0)	54(25.4)	21(9.9)	4(1.9)	47(22.1)	6(2.8)	213
既婚	16-24歳	3(100.0)						3
	25-34歳	80(87.9)		3(3.3)	1(1.1)	3(3.3)	4(4.4)	91
	35-44歳	129(75.0)	11(6.4)	2(1.2)	5(2.9)	18(10.5)	7(4.1)	172
	45歳以上	47(64.4)	11(15.1)	2(2.7)	2(2.7)	11(15.1)		73
既婚男性計		259(76.4)	22(6.5)	7(2.1)	8(2.4)	32(9.4)	11(3.2)	339
未既婚男性不明		1(20.0)				1(20.0)	3(60.0)	5
男子総計		341(61.2)	76(13.6)	28(5.0)	12(2.2)	80(14.4)	20(3.6)	557

未婚男性における2人以上の複数のパートナーとの関係者は79名であり、過去1年間に性交を持ったものを分母にすると49.4%となる。35歳未満で57名(52.3%)、35歳以上22名(43.1%)と前者が高値であるも有意差は認めなかった。既婚男性は37名(12.5%)であったが、35歳未満は62名中4名(6.5%)に対し35歳以上が209名中33名(15.8%)と後者が有意($p<0.05$)に高値となっていた。また、性交渉無について既婚男性の35歳未満は3.2%に対しそれ以上は11.8%で有意差($p<0.05$)を認めた。

未婚女性では「性交渉を持たなかった」が43名(20.7%)、持ったものが160名(76.9%)であり、この値は未婚男性とほぼ同じで有意差は認めなかった。既婚女性では持たなかったもの74名(15.0%)で既婚男性の9.4%に対し有意($p<0.05$)に高値であった。性交渉を持った未婚女性は160名で1人のみは105名(65.6%)であり未婚男性の50.6%に対し有意($p<0.01$)に高値であった。2人以上の複数のパートナーとの関係者は55名であり、1年間に性交を持ったものを分母とすると34.4%となり、逆に未婚男性に比べ有意($p<0.01$)に低値であった。既婚女性で「性交渉なし」の74名(15.0%)を除いて持ったもののうち一人のみが362名(95.0%)と男性に比べ有意($p<0.001$)に高値であった。既婚の複数のパートナーは19名(5.0%)であり、既婚男性の12.5%に対し有意($p<0.001$)に低値であった。このうち35歳未満は8名(6.8%)に対し35歳以上11名(4.2%)であった。

表3-2. 女性の過去1年間の性交渉のパートナー数

	世代	1人	2-4人	5-9人	10人以上	性交渉無	無回答	総計
未婚	16-24歳	30(52.6)	17(29.8)	3(5.3)	2(3.5)	4(7.0)	1(1.8)	57
	25-34歳	49(56.3)	13(14.9)	3(3.4)	5(5.7)	14(16.1)	3(3.4)	87
	35-44歳	21(45.7)	8(17.4)	1(2.2)	1(2.2)	14(30.4)	1(2.2)	46
	45歳以上	5(27.8)	2(11.1)			11(61.1)		18
未婚女性計		105(50.5)	40(19.2)	7(3.4)	8(3.8)	43(20.7)	5(2.4)	208
既婚	16-24歳	4(80.0)				1(20.0)		5
	25-34歳	105(82.0)	4(3.1)	3(2.3)	1(0.8)	7(5.5)	8(6.3)	128
	35-44歳	170(70.8)	4(1.7)	2(0.8)	1(0.4)	44(18.3)	19(7.9)	240
	45歳以上	83(68.6)	3(2.5)	1(0.8)		22(18.2)	12(9.9)	121
既婚女性計		362(73.3)	11(2.2)	6(3.4)	2(0.4)	74(15.0)	397.9)	494
未既婚不明女性		5(62.5)	1(12.5)				2(25.0)	8
女性総数		472(66.5)	52(7.3)	13(1.8)	10(1.4)	117(16.5)	46(6.5)	710

女性の35歳未満と35歳以上の年齢でみると、「性交渉無」が未婚では35歳未満群144名中18名(12.5%)35歳以上群64名中25名(39.1%)と後者が有意($p<0.001$)に高値を示していた。既婚女性では35歳未満群133名中8名(6.0%)に対し以上群361名中66名(18.3%)と

これも後者が有意($p < 0.01$)に高値を示していた。

この結果を未婚男性と未婚女性とを2006年に行われた第3回調査と同じようにして比較したのが表4である。この数値からみると「性交渉無」や「パートナーが独り」が今回の調査でやや高く認められるものの有意差はなく、複数の関係を持っていたものが、今回の調査で、未婚男性($p < 0.05$)、既婚女性($p < 0.01$)で有意に低下していた。

表4. 過去1年間の性交渉のパートナー数の前回調査との比較

第4回調査	1人	2-4人	5-9人	10人以上	性交渉無	無回答	総計
未婚男性計	81(38.0)	54(25.4)	21(9.9)	4(1.9)	47(22.1)	6(2.8)	213
既婚男性計	259(76.4)	22(6.5)	7(2.1)	8(2.4)	32(9.4)	11(3.2)	339
未婚女性計	105(50.5)	40(19.2)	7(3.4)	8(3.8)	43(20.7)	5(2.4)	208
既婚女性計	362(73.3)	11(2.2)	6(3.4)	2(0.4)	74(15.0)	39(7.9)	494
第3回調査	1人	2-4人	5-9人	10人以上	性交渉無	無回答	総計
未婚男性計	59(31.1)	63(33.2)	23(12.1)	7(2.0)	30(15.8)	8(4.2)	190
既婚男性計	247(71.4)	28(8.1)	24(6.9)	7(2.0)	20(5.8)	20(5.8)	346
未婚女性計	103(47.5)	36(16.6)	16(7.4)	7(3.2)	43(19.8)	12(5.5)	217
既婚女性計	334(74.2)	24(5.3)	7(1.6)	8(1.8)	48(10.7)	29(6.4)	450

3. 決まった交際相手（配偶者を含む）以外でのセックスの関係

「決まった交際相手（配偶者を含む）以外の方で、セックスする相手はいますか？」との設問に対する回答者は、「いない」としたものが男性では557名中466名(83.7%)であった。未婚男性の特定以外のマルチパートナーを持つものが無回答を除いてみると208名中42名(20.2%)、既婚男性333名中35名(10.5%)と前者が有意($p < 0.01$)に高値であった。未婚男性の35歳未満では129名中23名(17.8%)、35歳以上79名中18名(22.8%)と後者が高値を示すも有意差は認めなかった。既婚男性の35歳未満では93名中6名(6.5%)、35歳以上240名中29名(12.1%)と後者が2倍近くの高値であったが有意差は認めなかった。

女性では「いない」としたものが557名中466名(84.4%)と男性とほぼ同じ値であったが、無回答を除くと女性は89.2%に対し男性85.8%と前者が高値を示し有意差は認めないものの傾向は認められた。このことは、未婚女性に比べ既婚女性の方に無回答者が多く有意差($p < 0.05$)を認めこれを除いて検討した。

未婚別でみると未婚女性のマルチパートナー率は22名10.8%に対し既婚48名10.4%でありほぼ同じ割合であった。未婚者の35歳未満では18名12.8%、35歳以上4名6.3%、既婚者の35歳未満11名8.7%、35歳以上37名11.0%であり有意差は認めなかった。

男女間のマルチパートナー率の比較をみると、未婚男性 20.2%に対し女性 10.6%と男性が高値で有意差(p<0.05)を認め、なかでも未婚男性の 35 歳以上 22.8%に対し未婚女性 6.3%と男性が有意(p<0.05)に高値であり、他の群では男女間の違いは認められなかった。

表 5-1. 男性の決まった交際相手（配偶者を含む）以外とのセックスの関係

男性	世代	1 人	2-4 人	5 人以上	いない	無回答	総数
未婚	16-24 歳	8(14.8)		1(1.9)	43(79.6)	2(3.7)	54
	25-34 歳	7(9.0)	6(7.7)	2(2.6)	62(79.5)	1(1.3)	78
	35-44 歳	12(18.8)	2(3.1)	1(1.6)	47(73.4)	2(3.1)	64
	45 歳以上	3(17.6)			14(82.4)		17
未婚男性計		30(14.1)	8(3.8)	4(0.9)	166(84.9)	5(2.3)	213
既婚	16-24 歳	1(33.3)			2(66.7)		3
	25-34 歳	3(3.3)	1(1.1)	1(1.1)	85(93.4)	1(1.1)	91
	35-44 歳	15(8.7)	2(1.2)	1(0.6)	150(87.2)	4(2.3)	172
	45 歳以上	6(8.2)	4(5.5)	1(1.4)	61(83.6)	1(1.4)	73
既婚男性計		25(7.4)	7(2.1)	3(0.9)	298(87.9)	6(1.8)	339
未既婚不明男性					2(40.0)	3(60.0)	5
男性総計		55(9.9)	15(2.7)	7(1.3)	466(83.7)	14(2.5)	557

表 5-2. 女性の決まった交際相手（配偶者を含む）以外とのセックスの関係

女性	世代	1 人	2-4 人	5 人以上	いない	無回答	総数
未婚	16-24 歳	5(8.8)	3(5.3)	1(1.8)	47(82.5)	1(1.8)	57
	25-34 歳	9(10.3)			76(87.4)	2(2.3)	87
	35-44 歳	4(8.7)			41(89.1)	1(2.2)	46
	45 歳以上				18(100.0)		18
未婚女性計		18(8.7)	3(1.4)	1(0.5)	182(87.5)	4(1.9)	208
既婚	16-24 歳				4(80.0)	1(20.0)	5
	25-34 歳	10(7.8)	1(0.8)		111(86.7)	6(4.7)	128
	35-44 歳	22(9.2)	2(0.8)		197(89.1)	19(7.9)	240
	45 歳以上	13(10.7)			101(83.5)	7(5.8)	121
既婚女性計		45(9.1)	3(0.6)		413(87.5)	33(5.8)	494

)	
未既婚不明	2(25.0)			4(50.0)	2(25.0)	8
女性総計	65(9.2)	6(0.8)	1(0.1)	599(84.4)	39(5.5)	710

この調査項目は、現在、決った交際相手（配偶者含む）以外との性的関係を問いかけたものであり、言葉をかえるなら「不倫的関係を持つもの」ということもできる。そこで前項の過去1年間に性的関係があったもので、複数のマルチパートナーの関係性について検討してみた。

表 6-1. 過去1年間に複数のパートナーと性的関係を持った割合

マルチパートナー			性交あり	複数者	(%)
男性	未婚	35歳未満	109	57	52.3
		35歳以上	51	22	43.1
	未婚計		160	79	49.4
	既婚	35歳未満	87	4	4.6
		35歳以上	209	33	15.8
	既婚計		296	37	12.5
総計			456	116	25.4
女性	未婚	35歳未満	122	43	35.2
		35歳以上	38	12	31.6
	未婚計		160	55	34.4
	既婚	35歳未満	117	8	6.8
		35歳以上	264	11	4.2
	既婚計		381	19	5.0
総計			541	74	13.7

表 6-1 は複数のパートナーの関係性を示したもので未婚男性は 49.4%がマルチパートナーを持っており、女性は 34.4%と低値で有意差(p<0.01)を認め、既婚男性は 12.5%、女性 5.0%とこの間にも有意差(p<0.001)を認め、この差は当然のこととも思われる。

しかしながら、現在、決った交際相手（配偶者を含む）以外の性的関係者の有無を問いかけた結果から表れてきた数値に変容がみられた(表 6-2)。未婚者においては、過去1年間と現在における性的関係者は少なくなることは十分に考えられることであり、一方、安定した既婚者においてはより少ないと考えていた。未婚男性では 49.4%から 20.3%、女性は